

## USB メモリへの ubuntu9.10 のインストール

### GParted の使い方

#### USBメモリへのubuntu9.10 のインストール (今回は4GBのメモリを使用)

パーティション「partition」とは、HDD など容量の大きい記憶装置を分割すること。ウィンドウズの場合、ドライブCとDになっている場合が多いが、ひとつのHDDを二つのドライブとして活用することができる。

パーティション操作はデータを消去してしまう危険な作業です。注意を！

#### 1、CD (ubuntu9.10) を立ち上げる。

#### 2、USBメモリを挿入する。

メモリのウィンドウを閉じる

デスクトップ上のUSBを右クリックし、「アンマウント」する。

USBのアイコンが消える。

(ウィンドウズでのUSBメモリを安全に外すことと同じ。

リナックスでは、アンマウントとマウント作業がある)



#### 3、システム システム管理 GParted

最初はパソコンのHDDを検出する。

右側にHDDの容量が表示(約40GiB、80GiBなど)

これを右側の選択でUSBメモリに切り替える。

/dev/sdb (約4GiB)



ここをクリック

ubuntuでは「GiB(ギビバイト)」という。

ウィンドウズの「GB(ギガバイト)」とほとんど同じと思ってください。

(正確には違いますが)

#### 注意

最初に表示されるパーティションはパソコンのHDDです。絶対にいじってはダメです！ ウィンドウズが壊れてしまいます。

すぐにUSBメモリに切り替えて下さい。(約4GiBの表示で確認)

#### 4、デバイス パーティションテーブルの作成

これでパーティションが消えてしまいます。

(USBメモリが使えなくなる)



警告がでます。



「未割り当て」となる。

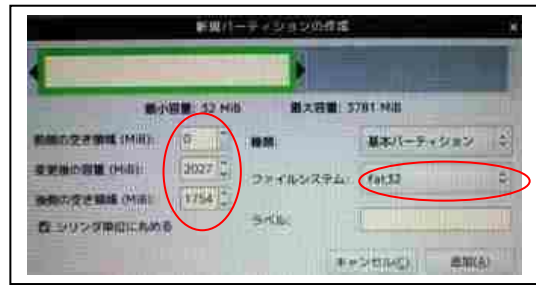
これでデータが消去され、USBメモリとして使えなくなりました。



#### 5、未割り当てを右クリックし、「新規」を選択する。

新規パーティションの作成に移る。

最初のパーティションを作成  
 前側の空き容量 0  
 変更後の空き容量 約 2000  
 後側の空き容量 残りが表示



ファイルシステムを FAT32  
 追加を押す

2 番目のパーティションを作成 (未割り当てを右クリック)  
 (ここに ubuntu をインストールを行う)

前側の空き容量 0  
 変更後の空き容量 約 1500  
 後側の空き容量 残り 500

ファイルシステムを FAT32  
 追加を押す

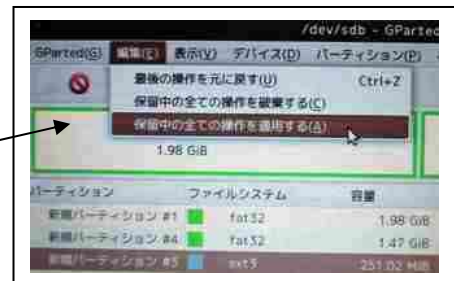
3 番目のパーティションを作成 (未割り当てを右クリック)

前側の空き容量 0  
 変更後の空き容量 約 500  
 後側の空き容量 残り 0

ファイルシステムを ext3  
 (ubuntu のファイルです)  
 追加を押す

## 6、編集 保留中の全ての操作を適用する

下にある三つの作業が実行されます。



2 番目の dev / sdb2 fat32 を  
 右クリック フラグを編集



boot にチェックを入れる。  
 これで 2 番目のパーティションが  
 Ubuntu の OS の場所になる。



boot (ブート) とは、BIOS が OS を最初に読みに行く場所です。

## 7、それぞれフォーマットしてください。

それぞれ右クリック フォーマット ( fat32 ) ( fat32 ) ( ext3 )  
編集 保留中の全ての操作を適用する  
三つがすべてフォーマットされます。

これで完成です。  
ごころうさまでした。

dev / sdb1 fat32  
dev / sdb2 fat32  
dev / sdb3 ext3



boot のフラグ

sdb1 は、ウィンドウズでも使えるメモリとなります。  
(ウィンドウズのときに挿入するとこの部分のみ表示されます)  
sdb2 は、ここに ubuntu9.10 をインストールします。  
sdb3 は、ubuntu 専用のメモリです。

## 8、いよいよ ubuntu9.10 のインストールへ

システム

システム管理

USB スタートアップディスクの作成

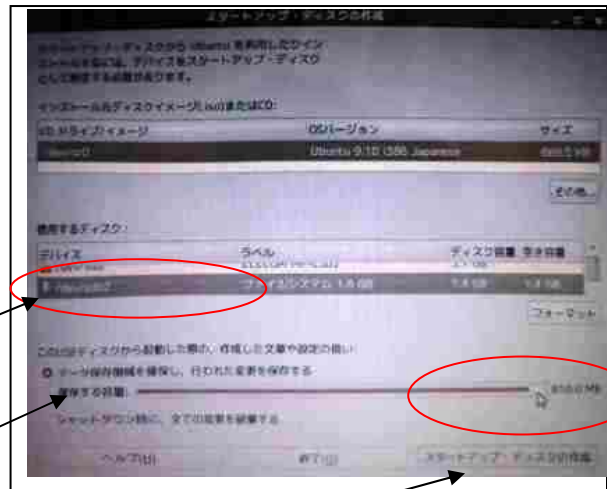
使用するディスク

dev / sdb2 にセット

データ保存領域を確保し・・・  
スライドを一番右に動かす。

スタートアップディスクの作成ボタンを押す。

7 ~ 8 分でインストール完了します。



これで、USB メモリの ubuntu9.10 が完成しました。

パソコンの BIOS を操作し、「USB から OS のロード」にセットしてください。  
また、通常のウィンドウズにも、USB メモリとして使えます。

最後に、くれぐれもパソコンの HDD に入っているウィンドウズを壊さないでください。  
(以上の操作に、当方はいっさい責任は負いません。自己責任で行ってください)